

平成27年度

行橋市教育委員会の教育に関する事務の管理及び  
執行の状況の点検及び評価報告書

(平成26年度対象)

行橋市教育委員会  
教育長

## 目次

教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の概要	1
行橋市教育委員会の自己点検・評価及び外部評価シートⅠ	2
行橋市教育委員会の自己点検・評価及び外部評価シートⅡ	4
行橋市教育委員会の自己点検・評価及び外部評価シートⅢ	6
行橋市教育委員会外部評価委員会の意見	17
平成27年度 評価経過	20
行橋市教育委員会外部評価委員名簿	21
地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）	21

## 行橋市教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の概要

### 1 教育委員会評価について

教育委員会は、首長から独立した合議制の組織であり、同委員会が自ら立てた教育行政の基本方針に基づき、教育に係る広範かつ専門的な事務が確実に実施され、かつ充実を図ることが求められています。

平成20年4月から施行された『地方教育行政の組織及び運営に関する法律』の一部改正により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、自己点検及び評価を行い、その結果を議会に提出するとともに、公表することが義務づけられました。

本市教育委員会におきましても、市教育委員会事務局に「教育委員会評価検討委員会」を設置し、その評価対象や評価方法等について議論を重ね、システムを決定し、各課・室において教育委員会評価のための資料整理を行い、行橋市教育委員会において自己評価を行いました。その後、学識経験を有する方を委員とする「行橋市教育委員会外部評価委員会」を設置し、評価及び意見をいただきました。これらを基に、「行橋市教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書」としてまとめました。評価の概要等については、以下のとおりです。

### 2 評価の対象

評価の対象は、平成26年度中の教育委員会としての活動及び事務執行分です。

また、評価項目は、平成26年度行橋市教育行政方針に基づき実施した事務事業や取り組みを対象に、各担当課の事業を踏まえて設定し、「Ⅰ 教育委員の活動」、「Ⅱ 教育委員会が管理・執行する事務」、「Ⅲ 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」について行いました。

### 3 外部評価の概要

平成26年度の評価については、行橋市教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の全体的な意見を「行橋市教育委員会外部評価委員会の意見」として掲載しています。

### 4 評価の詳細 別紙、各シートのとおり

(評価方法)

各シート毎に「評価項目」を設定し、各項目に対する点検・評価を「充実度」及び「実現度」の視点から4段階による評価を行いました。また、各シート中の「外部評価委員意見」欄の空欄については、外部評価委員の意見が、自己点検・評価と同様であり、「点検・評価が妥当」であるとの意見を示します。

「充実度」、「実現度」において、「4」は「順調に達成している」(達成率100～80%)、「3」は「おおむね順調に達成している」(達成率79～50%)、「2」は「一部困難な問題点(課題)がある」(達成率49～20%)、「1」は「困難な問題点(課題)がある」(達成率19～0%)という評価を示します。

また、Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの評価表について、「○」は、自己評価を「●」は外部評価委員会の評価を示し、「○」のみの標記は、両者同意見であることを示します。

※評価不可能な評価項目については、斜線で表記しました。

### 5 評価対象期間 平成26年4月1日～平成27年3月31日

# 行橋市教育委員会の自己点検・評価及び外部評価シート I

## I 教育委員の活動

評価項目		点検・評価（教育委員会）			点検・評価 （外部評価委員）																									
項目	指標	事業の成果及び内容（成果指標）	今後の課題及び 必要な取組	実現度・充実度																										
(1) 教育委員会の会議の運営改善	①教育委員会会議の開催回数	学校における現状への問題や協議事項に対する意見等の議論がされており、必要に応じて臨時会を開催し教育行政の円滑な遂行に努めた。今年度は、行橋市教育委員会会議規則に基づき、定例会を毎月1回計12回、臨時会を1回を開催した。	今後、臨時会を必要に応じて随時開催することで、充実を図っていききたい。	実現度↑ <table border="1"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td colspan="5">→充実度</td></tr> </table>	4				○	3					2					1					→充実度					教育委員会資料の事前配布は、今後も続けていきたい。
	4				○																									
3																														
2																														
1																														
→充実度																														
②教育委員会会議の運営上の工夫	審議が充実するように、教育委員会資料について事前配布・要点説明を行った。教育委員が出席した行事等の報告を行い、委員全員の共通理解を図った。また、委員は教育委員会所管の各種委員会等に所属し、委員それぞれの経験や立場を生かした発言を行った。	今後も、社会情勢の変化や市民の教育ニーズを踏まえ、審議の工夫を図っていききたい。	実現度↑ <table border="1"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td colspan="5">→充実度</td></tr> </table>	4				○	3					2					1					→充実度						
4				○																										
3																														
2																														
1																														
→充実度																														
(2) 教育委員会の会議の公開、保護者や地域住民への情報発信	○会議録の公開、広報活動の状況	会議録の概要、開催日程について、毎月HPへ掲載した。また、平成26年10月の市報において、毎月教育委員会定例会を開催している旨のお知らせを掲載し、市民へ周知を図った。なお、会議録については、平成26年度より速記業務委託を行い、内容の充実を図った。	さらに住民の理解と関心を深めるよう、HPに掲載している会議録の公開内容の充実を努めていく。	実現度↑ <table border="1"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td colspan="5">→充実度</td></tr> </table>	4				○	3					2					1					→充実度					
4				○																										
3																														
2																														
1																														
→充実度																														
(3) 教育委員会と事務局との連携	○教育委員会と事務局との連携	委員会会議で議論を深めるため、教育施策や課題などの情報や資料提供を随時行った。また、各行事、研修等の開催内容の連絡、結果報告も、お互いに日常的に行った。	委員への情報提供や各行事等の開催案内など連絡調整を密に行い、引き続き、相互連携を図っていく。	実現度↑ <table border="1"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td colspan="5">→充実度</td></tr> </table>	4				○	3					2					1					→充実度					
4				○																										
3																														
2																														
1																														
→充実度																														
(4) 教育委員会と首長の連携	○教育委員会と首長との意見交換会の実施	各教育委員と首長との意見交換は、各行事等の機会を通じて随時行った。また、教育長と首長は、政策等について毎月定例会議で意見交換を行った。教育委員も、首長との意見交換会を実施し、教育施策について活発な議論を交わした。	今後も、綿密な連携を図っていくとともに、平成27年度より設置の総合教育会議における協議、調整を行う中でも意見交換を行っていく。	実現度↑ <table border="1"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td colspan="5">→充実度</td></tr> </table>	4				○	3					2					1					→充実度					
4				○																										
3																														
2																														
1																														
→充実度																														
(5) 教育委員の自己研鑽	○研修会への参加状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県主催の研修に参加（2回）</li> <li>○京築地区市町教育委員会教育研修会に参加</li> <li>○教育推進協議会研修会、家庭教育研修会、PTA連合会研修大会に参加</li> <li>○女性教育委員研修への参加（2回）</li> <li>○福岡読書活動フェスティバルに参加</li> <li>○視察研修（1回） 平成26年2月12日佐賀県多久市において「小中一貫及びICTを活用した学校教育の取り組み」について、武雄市において「タブレット端末を活用した反転授業」について視察研修を行った。</li> </ul>	これからも、お互いの専門性を活かしつつ、多様な教育課題に対応できる教育委員として、研修の充実を図っていく。	実現度↑ <table border="1"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td colspan="5">→充実度</td></tr> </table>	4				○	3					2					1					→充実度					
4				○																										
3																														
2																														
1																														
→充実度																														

# 行橋市教育委員会の自己点検・評価及び外部評価シート I

## I 教育委員の活動

評価項目		点検・評価（教育委員会）			点検・評価 （外部評価委員）																									
項目	指標	事業の成果及び内容（成果指標）	今後の課題及び 必要な取組	実現度・充実度																										
(6) 学校及び教育施設に対する 支援・条件整備	①学校訪問	前期訪問、後期訪問、研究発表により全17校を訪問した。学校施設等の学習環境の確認を行い、条件整備に努めた。 市内全17校の運動会及び体育大会を訪問した。	今後も、各学校ごとの課題を把握し、教育委員会の基本方針や教育施策に反映させていく。	実現度↑ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> </table> →充実度	4				○	3					2					1						1	2	3	4	
	4				○																									
3																														
2																														
1																														
	1	2	3	4																										
②所管施設の訪問	平成26年度においては、福原長者原遺跡、市美術展覧会、歴史資料館・図書館、赤レンガ館その他各種所管施設を訪問し、各施設の状況及び課題の把握を行った。	現場の状況、課題を把握した上で、教育委員会の基本方針や教育施策に反映させていく。	実現度↑ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> </table> →充実度	4				○	3					2					1						1	2	3	4		
4				○																										
3																														
2																														
1																														
	1	2	3	4																										

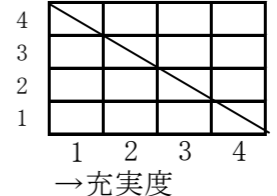
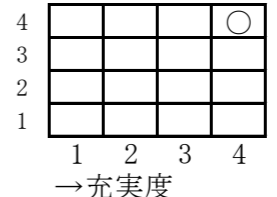
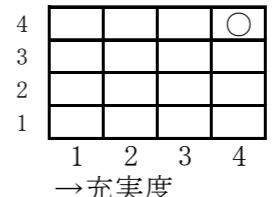
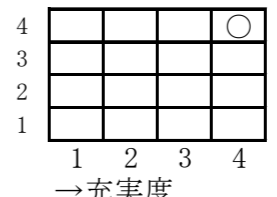
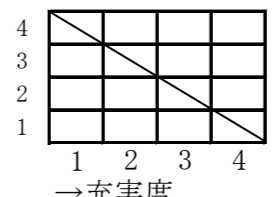
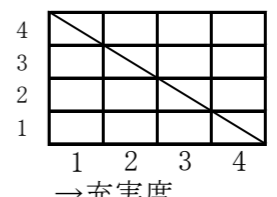
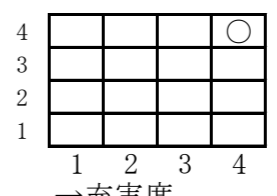
# 行橋市教育委員会の自己点検・評価及び外部評価シートⅡ

## Ⅱ 教育委員会が管理・執行する事務

評価項目	指標	点検・評価	外部評価																									
(1) 教育行政の運営に関する基本方針を定めること		<p>平成26年度行橋市教育行政方針、行橋市教育改革の重点施策について、前年度の教育委員会評価の結果を踏まえ協議を行い、策定した。 さらに、上記の重点施策等に加え、教育行政組織や予算、所管施設、その他資料を盛り込んだ「教育要覧」を発刊した。</p>	<p>実現度↑</p> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> </table> <p>→充実度</p>	4				○	3					2					1						1	2	3	4
4				○																								
3																												
2																												
1																												
	1	2	3	4																								
(2) 教育委員会規則及び規定を制定し、又は改廃すること		<ul style="list-style-type: none"> <li>○行橋市教育委員会処務規則の一部を改正する規則</li> <li>○行橋市体育施設条例施行規則の一部を改正する規則</li> <li>○行橋市公民館条例施行規則及び行橋市学習等供用施設条例施行規則の一部を改正する規則</li> <li>○行橋市心身障害児就学指導委員会規則の一部を改正する規則</li> <li>○行橋市教育委員会処務規則の一部を改正する規則</li> <li>○行橋市学校施設耐震診断基金条例施行規則を廃止する規則</li> <li>○行橋市給食費等の徴収に関する要綱の一部を改正する要綱</li> <li>○行橋市教育委員会会議規則の一部を改正する規則</li> <li>○行橋市教育委員会教育長に対する事務委任規則の一部を改正する規則</li> <li>○行橋市教育委員会公告式規則の一部を改正する規則</li> <li>○行橋市教育委員会公印規則の一部を改正する規則</li> <li>○行橋市教育委員会教育長職務代理者の指定に関する規則を廃止する規則</li> <li>○行橋市奨学資金条例施行規則の一部を改正する規則</li> <li>○行橋市教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の実施に関する規則の一部を改正する規則</li> <li>○行橋市教育委員会外部評価委員会の設置に関する規則の一部を改正する規則</li> <li>○行橋市教育委員会表彰規則の一部を改正する規則</li> <li>○行橋市教育行政に関する相談に関する事務を行う職員を指定する規則の一部を改正する規則</li> <li>○行橋市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令</li> <li>○行橋市立小・中学校個人情報取扱規程</li> <li>○行橋市学校給食検討委員会設置要綱を廃止する告示</li> <li>○行橋市学校給食センター建設委員会設置要綱を廃止する告示</li> <li>○旧百三十銀行行橋支店条例施行規則の一部を改正する規則</li> </ul> <p>以上22件。必要に応じて規則等の制定、改廃を行った。</p>	<p>実現度↑</p> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> </table> <p>→充実度</p>	4				○	3					2					1						1	2	3	4
4				○																								
3																												
2																												
1																												
	1	2	3	4																								
(3) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案の原案を決定すること		<ul style="list-style-type: none"> <li>○6月補正予算</li> <li>○9月補正予算</li> <li>○平成25年度決算</li> <li>○12月補正予算</li> <li>○3月補正予算</li> <li>○平成27年度当初予算</li> <li>○教育委員会外部評価に関すること</li> <li>○条例の原案に関すること <ul style="list-style-type: none"> <li>・行橋市公民館条例の一部を改正する条例</li> <li>・行橋市教育委員会教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例</li> <li>・行橋市学校施設耐震診断基金条例を廃止する条例</li> </ul> </li> </ul>	<p>実現度↑</p> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> </table> <p>→充実度</p>	4				○	3					2					1						1	2	3	4
4				○																								
3																												
2																												
1																												
	1	2	3	4																								

# 行橋市教育委員会の自己点検・評価及び外部評価シートⅡ

## Ⅱ 教育委員会が管理・執行する事務

評価項目	指標	点検・評価	外部評価
(4) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関を設置し、又は廃止すること	新たな設置又は廃止はなかった。	<p>実現度↑</p>  <p>→充実度</p>	
(5) 県費負担に係る教職員の人事の内申に関すること	教職員人事に際し、学校長の具申を受け、勤務年数、実績、適正配置等を勘案し、京築教育事務所に内申を行った。	<p>実現度↑</p>  <p>→充実度</p>	
(6) 教育委員会の所管に属する各種委員会の委員の任命又は委嘱に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○行橋市社会教育委員</li> <li>○行橋市教育委員会外部評価委員</li> <li>○行橋市不祥事防止対策推進委員</li> <li>○行橋市公民館運営審議会委員</li> <li>○行橋市図書館協議会委員</li> </ul> 上記の任命等を審議した。	<p>実現度↑</p>  <p>→充実度</p>	
(7) 教科用図書の採択の決定に関すること	平成27年度使用小学校用教科用図書採択に係る第13地区採択協議会事務局として、公平・公正に業務を遂行した。また、選定委員会からの答申を受け、採択協議会にて1種選定、教育委員会で承認した。	<p>実現度↑</p>  <p>→充実度</p>	
(8) 通学区域を設定し、又は変更すること	通学区域を設定し、又は変更することに関する事項はなかった。	<p>実現度↑</p>  <p>→充実度</p>	
(9) 文化財を指定し、又は指定を解除すること	文化財の指定や解除はなかった。	<p>実現度↑</p>  <p>→充実度</p>	
(10) 請願、陳情、訴訟及び異議の申立てに関すること	養島小学校の複式学級の解消についての請願があり、説明を行ったところ、不採択となった。	<p>実現度↑</p>  <p>→充実度</p>	

# 行橋市教育委員会の自己点検・評価及び外部評価シートⅢ

## Ⅲ 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

評価項目		点検・評価（教育委員会）			点検・評価（外部評価委員）																		
項目	関係事業名	事業の成果及び内容（成果指標）	今後の課題及び必要な取組	実現度・充実度																			
1 学校教育における重点施策	(1) 確かな学力と豊かな人間性の育成を目指す学校教育の推進	9年間を見通した小中一貫教育の推進	小中一貫教育の推進	「郷土科」「コミュニケーション科」を中心に、小中一貫（連携）教育の推進・充実に努めており、年度末には「郷土科」「コミュニケーション科」スタンダード版を全教員に配付し、積極的活用を図るようにしている。各中学校区では、出前授業や学校行事への相互乗り入れ等に加え、校長会・担当者会等が定期的に開催され、連携が強化されている。 また、教務担当者研修会を定例化（月1回）し、「郷土科」「コミュニケーション科」の内容について共通理解を図るとともに、小中学校の代表者の実践発表・研究発表会参加を取り入れ、小中一貫教育の推進を図っている。	「郷土科」「コミュニケーション科」スタンダード版を積極的に活用し、特に、中学校については内容等の充実を図っていく必要がある。	実現度↑ 4 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 1 →充実度			○														
			○																				
	保幼小中の連携で基本的な生活習慣の育成	保・幼・小・中連絡協議会、幼稚園園長会議	小学校単位での保幼小連絡会、中学校単位での小中連絡会は、前年度末・入学後（6月）等に、小中学校が中心となり実施されているが、教育委員会主催による保・幼・小・中連絡協議会は実施できなかった。 幼稚園園長会議については、25年度は1回開催だったが、年2回の巡回相談に合わせ、5月と10月に実施し、就園奨励費、施設整備及び発達障害に係る巡回相談事業の内容について協議した。	機構改革に伴い、幼稚園の主管課が福祉部に移行したため、緊密な連絡調整を図っていく必要がある。 乳幼児期から義務教育終了までを見通して情報共有を行う観点から、保・幼・小・中連絡協議会は確実に実施していきたい。	実現度↑ 4 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 1 →充実度			○															
		○																					
	きめ細やかな指導の充実で学力の向上	学力実態調査事業	毎年2月初旬に、小学校4年生及び中学校2年生を対象に、国語・算数（数学）・理科3教科について、市学力実態調査を実施している。結果については、3月に学校票及び個人票として学校及び個人に還元され、学校での指導方法の工夫改善及び家庭での学習内容の充実に生かされている。	平成27年度より福岡県学力調査が中2対象に行われるので、中学校については、対象を中1に変更したい。時期については、結果を踏まえて指導に活かせるように検討していきたい。	実現度↑ 4 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 1 →充実度			○															
		○																					
	心の専門家の配置や児童生徒相談センターの充実	専門相談員支援制度	適応指導教室に通う児童生徒及びその保護者、指導員を対象に専門相談員（臨床心理士）が月1回の割合で来室し、カウンセリングを行っている。定期的にカウンセリングを受けることで、児童生徒は、心の安定が図られ、学校復帰に向けての見通しを持つことができた。また保護者は、親としての関わり方について助言を受け、家庭生活に役立てることができた。  平成26年度 通級児童生徒数 11名、進学を含む復帰数 5名	1回のカウンセリングの対象数は3名のため、通級児童生徒数が増えると、回数増を検討していく必要がある。	実現度↑ 4 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 1 →充実度				○														
			○																				



# 行橋市教育委員会の自己点検・評価及び外部評価シートⅢ

## Ⅲ 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

評価項目		点検・評価（教育委員会）			点検・評価 (外部評価委員)																	
項目	関係事業名	事業の成果及び内容（成果指標）	今後の課題及び必要な取組	実現度・充実度																		
1 学校教育における重点施策	(1) 確かな学力と豊かな人間性の育成を目指す学校教育の推進	心の専門家の配置や児童生徒相談センターの充実	児童生徒相談センター事業 児童生徒相談センターにおいては、児童生徒、保護者及び教員等の相談活動を常時実施しており、様々な問題に対処し、必要に応じて関係機関と連携を図ることができた。過去3年間の相談件数（実数）は、平成24年度409件、25年度456件、26年度448件である。 また、不登校児童生徒及び生徒指導上の諸問題を把握するために毎月1回全小中学校を訪問し、課題解決に向けて協議をもつようになっている。	各学校の努力で、中学校の不登校数は19人減少した。小学校段階からの不登校を生まない取組の充実を図っていく必要がある。	実現度↑ 4 <table border="1"><tr><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 1 →充実度			○														
			○																			
	読書活動の推進で心豊かな子どもの育成	読書活動の推進	平成26年3月に策定した「第2次行橋市子ども読書活動推進計画」に基づき、保幼の段階からの取組の充実を図っている。貸出に加え、読書タイム・読書ボランティア等による読み聞かせ・子ども読書の日の取組等を各学校において実施した。 特に、26年度は、県のモデル地域の指定を受け、「うちどくりレー」に取り組んだ結果、家庭での読書推進、親子のコミュニケーションづくりに効果があった。 また、子ども読書活動推進協議会を年3回開催し、推進計画1年次の取組の成果及び課題を共有することができた。	第2次子ども読書活動推進計画に基づいた取組を各学校等で計画的に実施していく必要がある。「うちどくりレー」については、市単独での実施を検討していきたい。	実現度↑ 4 <table border="1"><tr><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 1 →充実度			○														
		○																				
	(2) 個別の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実	特別支援教育推進体制づくり	特別支援教育の推進	平成25年度より特別支援教育アドバイザー1名を嘱託職員として雇用し、特別支援教育相談室「すくすく相談室」を設置した。特別な支援を要する児童生徒・保護者・教員への相談活動、心理検査等、学校のニーズに応じて派遣している。 また、保育園（所）・幼稚園の巡回相談（年2回）にも派遣しており、発達障害が疑われる園児の早期発見・早期対応及び小学校への円滑な接続の面でも、効果を上げている。	学校からの相談要請は増加傾向にあり、効率的な対応を心がけていきたい。また「インクルーシブ教育」への対応も進めていく必要がある。	実現度↑ 4 <table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 1 →充実度				○												
			○																			
		特別支援教育総合推進事業による巡回相談・幼小の連携	巡回・発達相談事業	子ども未来研究センター及び福祉部子ども支援課と連携をとりながら、苅田幼稚園を含む6園の行橋市在住の園児を対象に様相観察を行い、アセスメント及び園へのフィードバックをし、今後の園での園児への接し方についてアドバイスを行っている。さらには、このデータをもとに就学相談会・教育支援委員会へとつなげることができ、小学校へのスムーズな移行及び適正な就学の一助となった。	保育園・幼稚園と小学校の連絡会は年度末に行われているが、市外の園の園児については、保幼・小相互の情報共有が不十分なことがある。	実現度↑ 4 <table border="1"><tr><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 1 →充実度			○													
		○																				

# 行橋市教育委員会の自己点検・評価及び外部評価シートⅢ

## Ⅲ 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

評価項目		点検・評価（教育委員会）			点検・評価（外部評価委員）																	
項目	関係事業名	事業の成果及び内容（成果指標）	今後の課題及び必要な取組	実現度・充実度																		
1 学校教育における重点施策	(2) 個別の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実	アシスタント・ティーチャーの活用による個別の教育的支援	アシスタント・ティーチャー配置事業 特別支援学級在籍児童生徒は増加傾向にあり、また発達障害と思われる児童生徒は、本市においても全児童生徒の6%程度通常学級に在籍している。このような児童生徒を支援していくために、25年度比3名増の21名（1名2校勤務、年度途中で1名任用）のアシスタント・ティーチャーを小中学校に配置することにより、支援を必要とする児童生徒への個に応じた支援が行われた。	稗田小・葦島小・泉中に配置できなかったため、各配置校の配置人数を減らして、配置校を増やしていくとともに、更なる増員を図れるよう検討していきたい。	実現度↑ 4 <table border="1" style="display: inline-table;"><tr><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 1 →充実度			○														
			○																			
(3) 今日的教育課題を解決する健康・保健・安全教育の充実	子どもの安全教育の推進	誘拐防止教室事業 児童生徒相談センター職員が行橋警察署署員と連携して小学校1年生を対象に5月～6月にかけて、不審者対応の在り方について寸劇を交えて指導した。	交通安全の内容も加味したい。また、継続性の観点から、可能であれば2年生も対象にしたい。	実現度↑ 4 <table border="1" style="display: inline-table;"><tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 1 →充実度				○														
			○																			
	児童生徒の安全確保を図る安全マップや安全パトロール、学校安全指導員の取組の充実	学校安全指導員事業 4名の学校安全指導員を各小学校に定期的（平均1.8回/週）に配置し、登下校時の安全指導及び校内危険箇所の点検・修理等を行った。 また、各学校ごとに危険箇所等を記した安全マップを作成し、通学路の整備に活用した。	特に登下校の指導について、今後の増員を検討していく必要がある。	実現度↑ 4 <table border="1" style="display: inline-table;"><tr><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 1 →充実度			○														安全マップを作成する等取り組みの充実が図られており、今後更なる充実を期待したい。	
		○																				
(4) 国際化や情報化社会を生きていく資質や能力を育てる教育の推進	中学生国際交流事業（グレイス・チャーチ・スクールとの国際交流）の実施	国際交流体験事業 本事業22年目を迎え、グレイス・チャーチ・スクールから18名の生徒を受け入れた。市内中学校での授業体験・国際交流等を行うとともに、浄喜寺での日本文化体験、博多座での歌舞伎鑑賞等の機会を提供した。	平成27年度は、米国訪問の年であるが、希望者が定員（15名以内）を超えた場合の選考の在り方について考えていかなければならない。 また、参加者の進路等の追跡調査を行い、事業の効果について検証していく必要がある。	実現度↑ 4 <table border="1" style="display: inline-table;"><tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 1 →充実度				○														
			○																			

# 行橋市教育委員会の自己点検・評価及び外部評価シートⅢ

## Ⅲ 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

評価項目		点検・評価（教育委員会）			点検・評価（外部評価委員）																						
項目	関係事業名	事業の成果及び内容（成果指標）	今後の課題及び必要な取組	実現度・充実度																							
1 学校教育における重点施策	(5) 人間尊重の精神を育成する人権教育の推進	豊かな感性を育む人権教育の推進	人権教育の推進	<p>行橋市人権教育啓発基本計画に則り、人権を基盤とした学校づくりを推進してきた。人権教育研究指定校事業の指定を受けた行橋中学校では、「外国人問題」を取り上げ、人権尊重の学校づくりに寄与した。</p> <p>また、各種研修会等への教職員の参加奨励を図り、各小中学校において人権教育の推進を図った。</p>	<p>学校でのいじめ・不登校問題の解決、教職員の人権意識の高揚等に向けて、今後とも取組の充実を図っていかなければならない。</p>	<p>実現度↑</p> <table border="1"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→充実度</p>	4			○		3					2					1					
	4			○																							
	3																										
	2																										
1																											
(6) 規範意識や基本的生活習慣の育成を図る家庭教育の充実	ノーテレビ・ノーゲームデーを実施し、親子の触れ合いを推進	家庭教育の推進	<p>市P連と連携し、毎月第3月曜日を、ノーテレビ・ノーゲームデーと位置づけ、親子のコミュニケーションが図れるように、各学校を通じて保護者への啓発を推進した。</p> <p>また、県のモデル地域の指定を受け、「うちどくりレー」に取り組み、家庭での読書推進、親子のコミュニケーションづくりに効果をあげた。</p> <p>一方、1月実施の家庭教育研修会では「ケータイ・スマホ」問題を取り上げるとともに、市P連等関係団体と協議を重ね、「脱ケータイ・スマホ宣言」運動を27年度から取り組んでいる。</p>	<p>「脱ケータイ・スマホ宣言」については、進捗状況の把握に努めるとともに、各学校の生徒会に問題提起を行い、自分たちの問題として考えさせたい。</p>	<p>実現度↑</p> <table border="1"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→充実度</p>	4			○		3					2					1					脱ケータイ・スマホについては各家庭の事情もあり非常に難しい問題だが、引き続き家庭教育の推進を図っていただきたい。	
4			○																								
3																											
2																											
1																											
(7) 信頼される学校づくりの推進	研修を通じた教師の指導力の向上で確かな学力の向上	教職員研修事業	<p>教職員の資質及び力量の向上を図るために、全教職員を対象にした研修及び経験年数・職能に応じた研修等13区分の研修について、講義・実践発表・協議・講師招聘、授業研究等、内容を工夫して計画的に実施することができた。</p> <p>経験1年経過教員研修では、事前に課題を集約し、課題解決型の研修形態を取り入れた。</p>	<p>若年教員の力量向上が急務であり、経1年研対象者に全員、研究授業を課すとともに、若年講師研修会を計画・実施していきたい。</p>	<p>実現度↑</p> <table border="1"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→充実度</p>	4				○	3					2					1					教職員の資質及び能力向上のため、研修の充実に努めていただきたい。併せて若年層の教職員及び講師対象の研修を推進していただきたい。	
4				○																							
3																											
2																											
1																											
		研究指定委嘱事業	<p>小学校2校・中学校1校の研究指定委嘱であり、3校とも「算数（数学）科」での実践研究で、「習得と活用」「交流活動」に焦点をあて、様々な支援の工夫がなされ、子どもたちは達成感・成就感を実感することができていた。</p>	<p>指導室の関わりがなかなかできていない。</p> <p>27年度に「郷土科」を取り入れている2校については、内容の充実に向けて指導・支援を強化していきたい。</p>	<p>実現度↑</p> <table border="1"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→充実度</p>	4			○		3					2					1						
4			○																								
3																											
2																											
1																											

# 行橋市教育委員会の自己点検・評価及び外部評価シートⅢ

## Ⅲ 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

評価項目		点検・評価（教育委員会）			点検・評価 （外部評価委員）																					
項目	関係事業名	事業の成果及び内容（成果指標）	今後の課題及び必要な取組	実現度・充実度																						
1 学校教育における重点施策	(8) 快適な教育環境をめざす教育施設の整備・充実	<p>公立学校施設整備計画の推進</p> <p>建物の構造耐力やトイレ、防水等の改修計画を推進し、建物の再生整備を行う。</p> <p>また、学校施設に対するニーズに対応するため、空調等の計画推進を行う。また防災食育センターの開設に併せて受け入れ側の配膳室等の改修を行う。</p>	<p>学校施設整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレ整備については、椿市小学校、稗田小学校の改修工事を行った。また、小学校8校、中学校5校の改修工事実施設計を行った。</li> <li>・屋上防水については、仲津小学校（講堂）今元小学校（講堂・校舎）の改修工事を行った。</li> <li>・空調整備については、延永小学校、椿市小学校、行橋北小学校、長峡中学校の整備工事を行った。また、今川小学校、稗田小学校、中京中学校の整備工事の実施設計を行った。</li> <li>・仲津中学校建替については、建替工事の実施設計を行った。</li> <li>・給食配膳室の整備については、泉小学校の配膳室改修工事を行った。行橋南小学校、行橋北小学校、椿市小学校、稗田小学校、今川小学校、今元小学校、延永小学校及び行橋中学校の配膳室の昇降機改修工事を行った。また、小学校9校、中学校5校の改修工事実施設計を行った。</li> </ul> <p>学校施設の修繕・工事については、危険な箇所から優先的に行い、児童生徒の安全確保に努めた。</p>	<p>今後の課題及び必要な取組</p> <p>学校施設整備事業については複数事業を並行して実施するため、学校の授業等に支障をきたさないよう、事業の綿密な計画と安全管理が求められるとともに、空調やトイレ等児童・生徒の学習環境に直結する内容であるため、全体計画を精査し可能な限り早期に実施する必要がある。</p>	<p>実現度・充実度</p> <p>実現度↑</p> <table border="1"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→充実度</p>	4				○	3					2					1					各小中学校において、トイレ改修や空調整備等計画的に進めている。児童生徒にできるだけ同じ環境で学んでもらうため、今後も計画的に事業を推進していただきたい。
	4				○																					
3																										
2																										
1																										
	耐震化事業の推進	小・中学校耐震改修事業	<p>耐震改修計画については、計画どおり耐震診断を行い、結果に応じて改修工事を行い、26年度末の耐震化率は、98.5%となった。</p> <p>（平成26年度実施事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行橋南小学校（校舎）耐震化工事</li> <li>・中京中学校（校舎）耐震化工事</li> <li>・泉中学校耐震診断</li> <li>・長峡中学校耐震診断</li> <li>・長峡中学校（校舎）耐震化工事</li> <li>・小学校11校、中学校6校体育館非構造部材調査実施設計</li> </ul>	<p>今後の課題及び必要な取組</p> <p>今後も計画どおり実施し、平成28年度までに耐震化事業を完了する予定である。</p>	<p>実現度・充実度</p> <p>実現度↑</p> <table border="1"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→充実度</p>	4				○	3					2					1					
4				○																						
3																										
2																										
1																										

# 行橋市教育委員会の自己点検・評価及び外部評価シートⅢ

## Ⅲ 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

評価項目		点検・評価（教育委員会）			点検・評価（外部評価委員）																					
項目	関係事業名	事業の成果及び内容（成果指標）	今後の課題及び必要な取組	実現度・充実度																						
2 生涯学習における重点施策	(1) 情報化とライフスタイルに対応した生涯学習の推進	中央公民館を核とした市民大学講座等各種講座を通じた生涯学習事業の推進	公民館事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>中央公民館及び行橋駅分館の利用促進を図った。また、27年1月より行橋駅分館を行橋公民館として運用開始。</li> <li>利用実績（26年度） 中央公（延べ2,326回 49,954人） 駅分館（延べ1,466回 19,876人）</li> <li>市民大学講座前期（歴史roman探訪・いきがい・まちづくり）と後期（男の美学女の美学講座・歴史roman探訪・健康ライフ）を企画募集し、市民の学びをサポートした。</li> <li>市民大学講座の開催実績（26年度） 前期（歴史 63名・いきがい 29名）全8回 後期（男女美学 60名・歴史 40名・健康 24名）全8回</li> <li>11校区それぞれの公民館で共通の講座を開催し、地域の学びの場をサポート。</li> <li>校区公民館主催事業実績（26年度） 人権講座（44回 2,087人） 子ども講座（127回 3,360人）女性学級（102回 3,228人）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで生涯学習関連の講座等を受講した市民の知識や技能を生かすため、生涯学習推進計画に基づいてボランティア登録派遣事業を実施する。</li> <li>地域へ情報を発信し、より多くの人たちの公民館活動に対する理解を図る。</li> </ul>	実現度↑ <table border="1"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →充実度	4				○	3					2					1					
	4				○																					
	3																									
	2																									
1																										
	校区公民館を市民のふれあい交流の場として、子ども講座や女性学級等の活動の推進	校区公民館子ども講座 <ul style="list-style-type: none"> <li>学校週5日制を契機に、小・中学生を対象とし各校区公民館にて子ども講座を実施し、学習活動の支援を図っている。</li> <li>11校区公民館子ども講座の事業実績（26年度） 行橋（7回・404名）行橋南（28回・265名） 行橋北（11回・381名）養島（22回・363名） 今元（7回・139名）仲津（6回・153名） 泉（8回・394名）今川（12回・666名） 稗田（10回・269名）延永（8回・194名） 椿市（8回・132名） 合計（127回・3,360名） ※前年度比（全体） -4回 +83名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も講座内容を充実していくとともに、初めて参加する子どもについては優先的に受講できるように工夫していく。</li> </ul>	実現度↑ <table border="1"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →充実度	4				○	3					2					1						
4				○																						
3																										
2																										
1																										
	地域情報の発信基地としての公民館活動の推進	公民館施設の計画的改修事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>行橋公民館移転に伴い公民館駐車場整備工事を行った。</li> <li>行橋公民館駐車場整備工事 8,177千円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後は公民館の老朽化に伴う大規模改修等の実施計画を立てて行く。</li> </ul>	実現度↑ <table border="1"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →充実度	4				○	3					2					1						
4				○																						
3																										
2																										
1																										
	(2) 地域の教育力向上と次代を拓く青少年の育成	子ども会や各種団体を支援し、次代を担うリーダーの育成	行橋市インリーダー研修（行橋市子ども会育成連合会） <ul style="list-style-type: none"> <li>市内の子ども会相互の連絡・調整と充実・発展を図り、地域の理解と協力、活発な活動を展開することで、心身ともに健全な子どもを育成する。次代を担うリーダーを養成するため、各単位子ども会より子どもを集め研修を行った。子ども会加入についてのパンフレットを作成</li> <li>行橋市インリーダー研修事業実績（26年度） 前期 6/14-15 16名 後期 1/24-25 22名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども会加入についてのパンフレットを新入生に配布し、保護者に改めて内容を理解してもらい、加入するきっかけ等をあらゆる手段で提供していく。</li> </ul>	実現度↑ <table border="1"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →充実度	4			○		3					2					1					近年の子ども会への加入率の低下は役員等保護者負担によるところが大きい。運営方法の見直しによる保護者の負担減という側面からも検討を行うといいのではないかと。
4			○																							
3																										
2																										
1																										

# 行橋市教育委員会の自己点検・評価及び外部評価シートⅢ

## Ⅲ 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

評価項目		点検・評価（教育委員会）			点検・評価 （外部評価委員）																
項目	関係事業名	事業の成果及び内容（成果指標）	今後の課題及び必要な取組	実現度・充実度																	
2 生涯学習における重点施策	(2) 地域の教育力向上と次代を拓く青少年の育成	青少年育成市民会議を核に関係団体との連携で、青少年の健全育成	行橋市青少年育成市民会議活動 ・青少年自らが生きがいを持ち、自立心を養い自己の確立をめざすよう努力するとともに、市民すべてが地域ぐるみで青少年の健全育成運動に参加しバックアップした。行橋市青少年育成市民会議が年間を通じて行った活動は、各種補導や声かけ運動、啓発グッズの配布などがあり、また強調月間等を活用して啓発運動を実施した。 行橋市青少年育成市民会議の事業実績（26年度） 会議・大会等（17回・903名） 街頭補導（JR行橋駅周辺 30回・大型店ゲームセンター 11回） 夜間補導（行橋署合同12回・補導員のみ8回・祭り 3回） 声かけ運動（5回） 乗車マナー向上の呼びかけ（行橋駅8回・3駅合同 3回） 強調月間時の啓発活動（7月：推進大会・パレード・11月：キャンペーン）	・青少年育成関係団体と街頭補導員との連携を図っているが、よりいっそう家庭と地域、学校とともに一体となって運動に取り組む必要がある。	実現度 ↑ 4 <table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> →充実度				○												
				○																	
	少年の船等、青少年の学校外活動の推進	「少年の船」行橋市青少年派遣事業 ・地域の小中学生を対象に、平和学習や参観活動、船内研修を通じて協調性やリーダーシップを育むための派遣事業を行った。 行橋少年の船事業実績（26年度） 参加団員（行橋市・40名） 事前研修（3回）：1日研修2回 宿泊研修1回 沖縄本研修：8月22～26日（4泊5日） 事後報告会：9月7日（中央公）保護者向け 事後研修（2回）：1日研修1回 宿泊研修1回	・若者のボランティアによる運営を続けているが、行政としてスタッフの育成が必要である。 ・団員の健全育成とともに、ボランティアスタッフの成長も大きな目標の一つであり、事業の魅力を高めるための見直しを検討したい。	実現度 ↑ 4 <table border="1"><tr><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> →充実度			○														
		○																			
	(3) 市民参加による人権教育の充実	人権講座の開催による人権意識の高揚	校区人権講座及び人権を考える市民の集い事業 ・11校区それぞれの公民館で人権講座を開催、また年2回人権政策課と人権を考える市民の集いを共催し、市民参加による人権教育の充実、人権意識の高揚を図った。 校区公民館人権講座の事業実績（26年度） 延べ回数 44回 参加者数 2,087人 人権を考える市民の集い 事業実績（26年度） 7月 菊池省三 講演会 350名（コスメト） 12月 ピーターフランクフル 講演会 300名（コスメト）	・人権政策課との連携を図り、校区民への広報宣伝を行いながら、受講生の拡大を図る。	実現度 ↑ 4 <table border="1"><tr><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> →充実度			○													
		○																			
	(4) 地域スポーツへの参加による健康、生きがいづくりの推進	体育、スポーツ、レクリエーション活動の普及・振興、明るく豊かな地域社会づくり	行橋市体育協会と連携した各種競技大会の開催 ・行橋市教育委員会主催の市長杯（旗）争奪スポーツ大会を行い、青少年の体力増進、健全育成、競技の普及推進を図った。 主な教育委員会主催スポーツ大会（26年度） 美夜古カップ中学生サッカー大会 14チーム 210人 市長旗少年柔道大会 54チーム 310人 市長杯ソフトテニス大会 24チーム 200人 市長杯高校野球大会 6校 130人 市長旗中学生剣道大会 72校 670人 ・東九州自動車道の開通を記念したマラソン大会を実施し、市内外に高速道路開通を周知した。 東九州自動車道開通記念マラソン 2,093人参加	・各競技とも市内に限らず、山口や大分など隣県からも多く出場しており、市内の小中高校生の競技力向上が期待できるが、今後も規模拡大により大会運営や準備に多くのスタッフが必要であり、協力体制の充実を図りたい。	実現度 ↑ 4 <table border="1"><tr><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> →充実度			○													
		○																			

# 行橋市教育委員会の自己点検・評価及び外部評価シートⅢ

## Ⅲ 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

評価項目		点検・評価（教育委員会）			点検・評価 （外部評価委員）																																								
項目	関係事業名	事業の成果及び内容（成果指標）	今後の課題及び必要な取組	実現度・充実度																																									
2 生涯学習における重点施策	(4) 地域スポーツへの参加による健康、生きがいくりの推進	スポーツの楽しさ・喜びを味わう「スポーツフェスタ in ゆくはし」の開催	<p>・市民体育祭に変わる市民参加型スポーツ大会としてはじめた、スポーツフェスタ in ゆくはしは、競技種目をローテーションで回しながら、同時にニュースポーツの推進を図ってきた。</p> <p>スポーツフェスタ in ゆくはし 事業実績（26年度）</p> <table border="0"> <tr> <td>実施種目ごとの参加者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ニューSP（バスボールなど）</td> <td>60名</td> </tr> <tr> <td>太極拳</td> <td>150名</td> </tr> <tr> <td>ゲートボール</td> <td>45名</td> </tr> <tr> <td>バスケットボール</td> <td>30名</td> </tr> <tr> <td>バトミントン</td> <td>40名</td> </tr> <tr> <td>グリーンソフトボール</td> <td>140名</td> </tr> </table>	実施種目ごとの参加者		ニューSP（バスボールなど）	60名	太極拳	150名	ゲートボール	45名	バスケットボール	30名	バトミントン	40名	グリーンソフトボール	140名	<p>・競技種目によって参加者数にばらつきがある。ニュースポーツの推進において子どもの参加増を図るとともに、今後は普及活動に力を入れたい。</p>	<p>実現度 ↑</p> <table border="1"> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> </table> <p>→充実度</p>	4			○		3					2					1						1	2	3	4	
	実施種目ごとの参加者																																												
ニューSP（バスボールなど）	60名																																												
太極拳	150名																																												
ゲートボール	45名																																												
バスケットボール	30名																																												
バトミントン	40名																																												
グリーンソフトボール	140名																																												
4			○																																										
3																																													
2																																													
1																																													
	1	2	3	4																																									
	幼児から高齢者まで、安全で利用しやすい体育施設の整備	<p>・利用者すべてが安全に利用しやすい施設とするために、行橋市第5次総合計画実施計画を元に、武道館の改修工事等を行った。</p> <p>計画・実施した改修工事（26年度）</p> <table border="0"> <tr> <td>行橋市武道館排煙オペレーター装置改修工事</td> <td>1,092千円</td> </tr> <tr> <td>〃 照明制御設備改修工事</td> <td>486千円</td> </tr> </table>	行橋市武道館排煙オペレーター装置改修工事	1,092千円	〃 照明制御設備改修工事	486千円	<p>・今後は総合公園以外の体育施設の施設整備計画を進めたい。</p>	<p>実現度 ↑</p> <table border="1"> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> </table> <p>→充実度</p>	4			○		3					2					1						1	2	3	4												
行橋市武道館排煙オペレーター装置改修工事	1,092千円																																												
〃 照明制御設備改修工事	486千円																																												
4			○																																										
3																																													
2																																													
1																																													
	1	2	3	4																																									

# 行橋市教育委員会の自己点検・評価及び外部評価シートⅢ

## Ⅲ 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

評価項目		点検・評価（教育委員会）			点検・評価（外部評価委員）																										
項目	関係事業名	事業の成果及び内容（成果指標）	今後の課題及び必要な取組	実現度・充実度																											
3 文化における重点施策	(1) 市民のいきがいを生み出す文化芸術活動の推進	文化活動支援事業 市民が文化芸術に親しみ、創造的活動が展開できるように支援する	第44回行橋市民文化祭をコスメイト行橋、市民会館、中央公民館で開催した。開催内容は、2部門が新たに加わり、計23部門が作品展示、ステージ発表などを行い2,534人の参加を得て、入場者は7,990人であった。 また、校区文化祭は引き続き11校区全ての校区で開催し、文化活動を通じた地域づくりに寄与することができた。 これに加えて、福岡県立美術館と連携して移動美術館展を開催し、行橋市出身や京築ゆかりの作家の作品を展示し、子どもたちをはじめ市民に気軽に郷土の美術に触れてもらうことを目指した。 入場者数は、2,108人となり多くの市民や子どもたちが美術に接した。	市民文化祭の参加者は高齢者が多くを占めているため、若年層の参加を促すとともに、プログラム等がマンネリ化しないように努め入場者の増加を図りたい。 また、今回の移動美術館展を契機に、質の高い芸術にふれる機会を増やしたい。	<table border="1"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> </table> 実現度↑ →充実度	4				○	3					2					1						1	2	3	4	
	4				○																										
	3																														
	2																														
1																															
	1	2	3	4																											
	文化団体の育成に努め、文化芸術の活性化を図る	文化活動支援事業 文化活動を活性化させるため、文化活動団体に支援をした。市民の文化活動を活性化させるための市民文化祭の開催活動している行橋市文化協会は、太極拳とフラワーアレンジメントの2部門が新たに加わり活性化している。 連歌の継承と行橋連歌大会の開催活動をしている連歌企画委員会は、連歌の研究者を招き講演会を行い、連歌普及の活性化を図った。 市民の美術活動の向上を図るために行橋市美術展覧会の開催活動をしている行橋市美術展覧会運営委員会は、5部門で展覧会を開催し多くの出展があった。	各団体への補助金以外での支援方法をさらに検討したい。 行橋市美術展覧会においては、出品者数が増加するような情報発信に取組みたい。	<table border="1"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> </table> 実現度↑ →充実度	4				○	3					2					1						1	2	3	4		
4				○																											
3																															
2																															
1																															
	1	2	3	4																											
	子どもたちの豊かな感性を育むため、児童・生徒に文化芸術を体験・鑑賞する機会を提供する	文化公演事業 近年青少年が関わる様々な事件が大変増加している中、子どもたちの心を育むとともに心を元気にする目的で文化協会の協力を得て演奏会を行った。 演奏会のジャンルは、和太鼓、邦楽、民謡三味線、津軽三味線、神楽及び能楽であった。	文化公演の内容は、演奏会に限っているが、美術のほうも検討したい。	<table border="1"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> </table> 実現度↑ →充実度	4				○	3					2					1						1	2	3	4		
4				○																											
3																															
2																															
1																															
	1	2	3	4																											
	文化施設の整備と利用促進	文化施設整備事業 複合文化施設コスメイト行橋の指定管理者である(公財)行橋市文化振興公社と運営及び利用促進について協議を行った。施設の利用者数は、文化ホール81,680人、図書館100,304人、視聴覚センター4,550人、歴史資料館32,921人、合計219,455であった。 前年度の利用者数が、211,940人で対前年比103%となって、微増となった。	文化ホールを利用した自主事業の充実を図るとともに、歴史資料館の展示内容の企画を充実させることで利用者の増加を図りたい。	<table border="1"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> </table> 実現度↑ →充実度	4				○	3					2					1						1	2	3	4		
4				○																											
3																															
2																															
1																															
	1	2	3	4																											



# 行橋市教育委員会の自己点検・評価及び外部評価シートⅢ

## Ⅲ 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

評価項目		点検・評価（教育委員会）			点検・評価 （外部評価委員）																					
項目	関係事業名	事業の成果及び内容（成果指標）	今後の課題及び必要な取組	実現度・充実度																						
3 文化における重点施策	(1) 市民のいきがいを生み出す文化芸術活動の推進	図書館を核とした読書活動の推進と学校図書館との連携	読書活動推進事業 平成23年度から開始した乳幼児を対象としたブックスタート事業を継続して実施。毎月ウィズゆくはしで行われている4ヵ月児健診を利用し、ボランティアによる絵本の読み聞かせと絵本の手渡しを行った。 他に行橋市図書館事業として、読書会、絵本作家講演会の開催、小学生読書リーダー養成講座などを行った。 また、現在の図書館の状況を把握するために、市民にアンケート調査を実施し、あわせて課題の抽出も行った。	市の読書ボランティア団体の活用を図り、市民の読書活動の支援体制を充実する。	実現度↑ <table border="1"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →充実度	4				○	3					2					1					
	4				○																					
	3																									
	2																									
1																										
(2) 歴史や文化財を活かしたまちづくり	歴史や文化とふれあう環境の整備・活用	史跡整備事業 外構整備された市指定史跡守田菘洲旧居を5月より一般公開し、行橋市の歴史にふれあう場として活用できるようにした。 「仏山塾」「松山子安観音」「稲童地下通信司令部壕」「椿市校区文化財」「菘島校区文化財」「今元校区文化財」、計6件の説明板を設置し、市民や来訪者の史跡見学の利便性の向上を図った。 また、文化財担当職員が学校に出向き、出前授業を行うことによって、小中学生の歴史への関心を高めることができた。	出前授業を積極的に行い、小中学生の歴史関心度の更なる向上を図る。	実現度↑ <table border="1"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →充実度	4				○	3					2					1					文化課職員による出前授業は非常にいい取り組みであり、今後も続けていただきたい。	
4				○																						
3																										
2																										
1																										
	歴史・文化への関心を高めるための情報発信と普及活動	文化遺産の公開普及事業 整備された市指定史跡守田菘洲旧居を保存管理するとともに、市民が行橋市の歴史にふれあう場として公開活用をはかっている。 また、ギャラリーとしても利用できるようにしたため、公開初年度に5,909人の来訪者が有った。 また、旧百三十銀行の利用者は、13,989名の入場者があるとともに、ギャラリー等としての会場の使用件数は44件となり、増加している。	今後は、ギャラリーとしての市民の認知度を上げるとともに、来訪者の満足度を上げ、再度訪れたいとなるように周辺環境の整備も図る。	実現度↑ <table border="1"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →充実度	4				○	3					2					1						
4				○																						
3																										
2																										
1																										
	歴史と自然が融合した魅力ある御所ヶ谷自然公園の整備	御所ヶ谷自然公園整備事業 史跡御所ヶ谷神籠石整備指導委員会の指導のもと、整備工事の実施設計を行った。 整備は平成26年度の実施設計に始まり、各整備項目単位に平成32年度まで継続する予定である。 平成26年度の実施設計は、主に中門から東門に至る遊歩道の整備や中門東石塁の修復工事、サイン及び説明板工事の設計を行った。	今後は、限られた予算の中で効率良く設計及び整備を進める。	実現度↑ <table border="1"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →充実度	4				○	3					2					1						
4				○																						
3																										
2																										
1																										

# 行橋市教育委員会の自己点検・評価及び外部評価シートⅢ

## Ⅲ 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

評価項目		点検・評価（教育委員会）			点検・評価 （外部評価委員）																	
項目	関係事業名	事業の成果及び内容（成果指標）	今後の課題及び必要な取組	実現度・充実度																		
3 文化における重点施策	(2) 歴史や文化財を活かしたまちづくり	保存整備した守田蓑洲旧居や馬ヶ岳城を歴史学習や文化振興に活用する	守田蓑洲開館事業 馬ヶ岳城跡整備事業	NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」放映にあわせ、馬ヶ岳城跡への来訪者が増加している現状に関して、訪問者の利便性の向上を行った。 駐車場にトイレを設置し、馬ヶ岳城跡の草刈や伐採を行い来訪者に対する環境を整備した。 守田蓑洲旧居においては、環境整備の一環として庭木の伐採を行い、剪定を行橋高校の授業の一環として行った。室内はギャラリーとしても利用可能にしたため、展示会等でも多く利用があった。これに伴い、来訪した人数は5,909人となった。	大河ドラマが終了しても、馬ヶ岳城に来訪する人が減少しないように継続して保存整備に取り組む。 守田蓑洲旧居においては、再来訪する取組みや情報発信を行う。	実現度 ↑ 4 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 1 →充実度				○												
				○																		
	福原長者原遺跡など市内の重要な史跡の調査と保護を推進する	市内遺跡発掘調査事業 稲童1号掩体壕用地購入事業	大規模な官衙遺跡の正殿が確認された福原長者原遺跡は、調査指導委員会の指導のもとに、遺跡全体を把握するため、引き続き航空測量等の調査を行った。 また、この遺跡の一部を史跡公園化し、市民に遺跡の周知をはかり、誇りに感じてもらえるように整備した。 稲童1号掩体壕に関しては、平成25年度から平成26年度にかけて史跡指定地を公用化し、保存管理の充実を図ることができた。	市民に周知を図るとともに、再来訪する企画に取り組む。	実現度 ↑ 4 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 1 →充実度				○													
			○																			
	(3) 地域の伝統文化の継承と普及	今井祇園や連歌、下検地楽や神楽等の本市に伝わる伝統文化の保存・継承	伝統文化継承事業	行橋連歌大会を継続して開催し連歌の継承と普及を図った。 また、連歌の初心者向けの冊子を作成し、市内外で広く普及活動ができるようになった。 連歌大会を開催する前に、今井の須佐神社及び今井浄喜寺で中高生を相手に連歌講座を行うとともに、連歌講演会も大会前に実施し、より連歌に親しむ環境を作ってきました。 神楽は市内の4団体が文化協会に加入し、市民文化祭で公演をすることで、神楽の普及、定着を図ることができた。	伝統文化を継承・発展させるためには、継続して事業を実施する必要がある。	実現度 ↑ 4 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 1 →充実度				○												
			○																			

## 行橋市教育委員会外部評価委員会の意見

行橋市教育委員会評価について外部評価委員会として次のように所見を述べさせていただきます。

### 行橋市教育委員会外部評価委員会

会 長 永添 祥多

委 員 山縣 宏美

委 員 春田 邦子

#### 1 教育委員会の活動、教育委員会が管理・執行する事務について

教育委員会資料について、事前配布・要点説明がなされている。この取り組みについては、今後も続けていきたい。

#### 2 教育施策の推進状況と展望

##### (1) 学校教育における重点施策

###### ① 読書活動の推進

平成26年度に県のモデル地域の指定を受け実施した「うちどくりレー」について、1週間という期間を設けて各家庭での読書活動及び親子のコミュニケーションづくりの推進を図っている。各家庭の状況に応じて実施できることから、非常に良い取り組みであり、今後も続けていきたい。

###### ② 学校安全指導員事業

学校安全指導員の配置は、学校としては非常にありがたい取り組みである。今年度は安全マップを作成し、通学路の整備に活用しており、事業の充実化が図ら

れている。今後更なる充実を期待したい。

### ③ 教職員研修事業

教職員の多忙感が大きく、難しい部分もあるが、教職員の資質及び能力向上のため、研修の充実に努めていただきたい。併せて、現状の把握を行うとともに、特にサポートが必要な若年層の教職員及び講師対象の研修を推進していただきたい。

### ④ 家庭教育の推進

脱ケータイ・スマホについては、携帯電話やスマートフォンは各家庭の事情により保護者が子どもに与えるものであり、非常に難しい問題であるが、「うちどくりレー」等と併せて家庭教育の推進を図っていただきたい。

### ⑤ 学校施設整備事業

各小中学校において、トイレ改修や空調整備等計画的に進めている。市内の小中学校全ての児童生徒にできるだけ同じ環境で学んでもらうため、今後も計画的に事業を推進していただきたい。

## (2) 生涯学習における重点施策について

### ① 行橋市インリーダー研修（行橋市子ども会育成連合会）

保護者の内容理解のためのパンフレットを作成・配布することで子ども会への加入促進を図っているが、近年の子ども会への加入率の低下は役員等保護者負担によるところが大きい。運営方法の見直しによる保護者の負担減という側面からも検討を行うと良いのではないかと。

### (3) 文化における重点施策について

#### ① 史跡整備事業

文化課職員による市内小中学校への出前授業実施の取り組みは、子どもに地域の歴史について興味を持ち、行橋市に誇りを持ってもらうことを目的として歴史学習を行っているとのことだが、非常に良い取り組みであり、今後も続けていただきたい。

#### ② 守田蓑洲開館事業

行橋市は文化的な事業に力を入れている印象が強い。守田蓑洲旧居の環境整備を行橋高校の授業の一環として行っていることは、高校生が地域の良さを知り、地域を大切にするきっかけとなる非常に良い取り組みである。

また、授業以外にも市内の小、中学生及び高校生のボランティアの場としても活用できるのではないか。

## 4 教育委員会点検・評価に関する全体意見

評価方法については、昨年度と同様充実度・実現度を4段階で表記しており、大変見やすく分かりやすいが、実現度についてどのような目標に対してどの程度達成しているのか分かりづらい部分もある。目標を数値化できない項目もあるため難しい面もあるが、目標に関する情報の充実について検討をしていただきたい。

来年度の外部評価に向けて評価項目の精査及び簡略化等を検討しているとのことなので、併せてさらに分かりやすい報告書の充実に努めていただきたい。

平成27年度 評価経過

年月日	内容	備考
平成 27 年 6 月 8 日 (月)	第 1 回教育委員会評価検討委員会 内容：1. 経過（前年度評価の状況）について 2. 本年度点検・評価の方法について 3. 今後の資料作成について 4. その他について	
平成 27 年 6 月 10 日 (水)	第 2 回教育委員会評価検討委員会 内容：1. 点検・評価の内容について 2. その他について	
平成 27 年 6 月 12 日 (金)	第 3 回教育委員会評価検討委員会 内容：1. 点検・評価の内容について 2. その他について	
平成 27 年 6 月 23 日 (火)	第 7 回定例教育委員会開催 内容：行橋市教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書（案）について	
平成 27 年 7 月 28 日 (火)	平成 2 7 年度第 1 回外部評価委員会開催	
平成 27 年 8 月 20 日 (木)	第 9 回定例教育委員会 内容：行橋市教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価行橋市教育委員会の教育に関する事務の点検・評価の外部評価結果及び議会提出について	
平成 27 年 9 月 1 日 (火)	行橋市教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書の議会提出	

行橋市教育委員会外部評価委員名簿

平成27年6月23日現在

氏名	任期	学識経験等の状況	備考
永添 祥多	平成26年8月19日～平成28年8月18日	近畿大学（産業理工学部経営ビジネス学科）教授	委員長
山縣 宏美	平成26年8月19日～平成28年8月18日	西日本工業大学（デザイン学部建築学科）准教授	副委員長
春田 邦子	平成26年8月19日～平成28年8月18日	教職員経験者（小学校長経験者）	

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

地方教育行政の組織及び運営に関する法律  
 制定：昭和31年6月30日法律第162号  
 最終改正：平成26年6月20日号外法律第76号

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。